

「いわて県民計画(2019~2028)」

第1期アクションプランの 進捗状況について

I 健康・余暇

P 2~4

- 4 幅広い分野の文化芸術に親しみ、生涯を通じてスポーツを楽しむ機会を広げます
- (4) ライフステージに応じたスポーツを楽しむ機会の充実
 - (5) 障がい者スポーツへの参加機会の充実
 - (6) 岩手発の「超人スポーツ」の創出等によるスポーツ参加機会の拡大

III 教育

P 5~11

- 13 【体育】児童生徒の健やかな体を育みます
- (1) 豊かなスポーツライフに向けた学校体育の充実
 - (2) 適切な部活動体制の推進
 - (3) 健康教育の充実
- 19 文化芸術・スポーツを担う人材を育てます
- (3) アスリートの競技力の向上
 - (4) 障がい者アスリートの競技力の向上
 - (5) スポーツ医・科学サポートを通じた競技力の向上
 - (6) スポーツ活動を支える指導者等の養成

IV 居住環境・コミュニティ

P 12~13

- 26 文化芸術・スポーツを生かした地域をつくります
- (2) スポーツを生かした人的・経済的な交流の推進

4 幅広い分野の文化芸術に親しみ、生涯を通じてスポーツを楽しむ機会を広げます

（基本方向）

県民が心身ともに健康的に暮らせるよう、身近な地域でスポーツ活動ができる総合型地域スポーツクラブの活性化などを通じて、若年期から高齢期までのライフステージに応じたスポーツを楽しむ機会の充実を図ります。

また、障がい者スポーツの一層の推進を図るため、障がいのある人もない人も共に楽しむスポーツ大会や教室の開催などを通じて、障がい者のスポーツへの参加機会の充実や障がい者スポーツの理解促進に取り組みます。

さらに、年齢や身体能力、障がいの有無等に関わらず、県民一人ひとりがスポーツに取り組む新しい地域社会を創造するため、岩手発の「超人スポーツ」の創出等により、スポーツへの参加機会を広げます。

【課題と今後の方向】

課 題	今後の方向
＜具体的推進方策④＞ライフステージに応じたスポーツを楽しむ機会の充実	
<p>高齢者世代と比較し、20～30代のスポーツ実施率が低い傾向にあることから、働く世代をはじめ各世代のスポーツを楽しむ機会の充実を図っていく必要があります。</p> <p>休日の運動部活動の地域移行のためには、地域スポーツ団体の規模や指導者数が十分でないことから、地域での受入体制を整備していく必要があります。</p>	<p>県民が心身ともに健康的に暮らせるよう、身近な地域でスポーツ活動ができる総合型地域スポーツクラブの活性化や、若年期から高齢期までのライフステージに応じたスポーツを楽しむ機会の充実に取り組みます。</p> <p>また、運動部活動の地域移行に向け、総合型地域スポーツクラブ等への指導や、指導者の確保、育成等の取組への支援に取り組みます。</p>
＜具体的推進方策⑤＞障がい者スポーツへの参加機会の充実	
<p>障がいの有無や年代等に関わらず、身近な地域で共にスポーツを楽しむ機会をより充実させる必要があります。</p>	<p>障がい者スポーツの一層の推進を図るため、引き続き障がい者スポーツ教室や大会開催などの取組を進めるとともに、「インクルーシブ（共生社会型）スポーツ」を楽しむ場の創出等により、障がいの有無や年齢、身体能力に関わらず、県民一人ひとりがスポーツに取り組む環境の整備に取り組みます。</p>
＜具体的推進方策⑥＞岩手発の「超人スポーツ」の創出等によるスポーツ参加機会の拡大	
<p>障がいの有無や年齢、身体能力に関わらず、県民一人ひとりがスポーツを楽しむ機会を広げていくことが必要です。</p>	<p>県民一人ひとりがスポーツを楽しむ機会を拡充するため、超人スポーツやインクルーシブスポーツなどの、多様なスポーツへの参画機会の充実に取り組みます。</p>
総 括	
<p>以上のことから、スポーツを楽しむ機会の充実を図るため、身近な地域でスポーツ活動ができる総合型地域スポーツクラブの活性化や障がいの有無や年齢、身体能力に関わらず、県民一人ひとりがスポーツに取り組む環境の整備に取り組みます。</p>	

1 いわて幸福関連指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R3)	実績値 (R3)	達成度	参考)全国順位(東北順位)		
							H29	R3	比較
10 スポーツ実施率	%	61.7	③65.0	②64.5	②65.4	A	-	-	-

2 県の取組（具体的推進方策）の状況

具体的推進方策	取組状況	説明
④ ライフステージに応じたスポーツを楽しむ機会の充実	遅れ	推進方策指標2指標の達成度が、「D」が2指標であり、構成する事務事業は概ね順調に取り組まれているものの、「遅れ」と判断しました。
⑤ 障がい者スポーツへの参加機会の充実	順調	推進方策指標2指標の達成度が、「A」が2指標であり、構成する事務事業も概ね順調に取り組まれていることから、「順調」と判断しました。
⑥ 岩手発の「超人スポーツ」の創出等によるスポーツ参加機会の拡大	順調	推進方策指標2指標の達成度が、「A」が1指標、未確定等が1指標であり、構成する事務事業も概ね順調に取り組まれていることから、「順調」と判断しました。

- 県民が心身ともに健康的に暮らせるよう、身近な地域でスポーツ活動ができる総合型地域スポーツクラブの活性化などを通じて、若年期から高齢期までのライフステージに応じたスポーツを楽しむ機会の充実に取り組んでいます。
- コロナ禍においても、県民が安心してスポーツを楽しめる場を提供するため、各施設や競技団体のガイドラインに沿った新型コロナウイルス感染症対策に取り組んでいます。
- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、県営スポーツ施設の利用者数が減少しているため、指定管理者において、ホームページ・SNS、市町村等の広報媒体を通じ、施設やイベント等の紹介、新型コロナウイルス感染症対策などの取組等のPRを行っています。
- 県民が安心してスポーツ活動ができる場を提供するため、県内のスポーツ施設の現状や県と市町村との役割分担、県民のニーズなどを踏まえ、県営スポーツ施設の計画的な維持改修を実施しています。
- 障がい者スポーツの一層の推進を図るため、障がいのある人もない人も共に楽しむスポーツ教室や大会の開催などを通じて、障がい者のスポーツへの参加機会の充実や障がい者スポーツの理解促進に取り組んでいます。

(4) ライフステージに応じたスポーツを楽しむ機会の充実

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R3)	実績値 (R3)	達成度
56 総合型地域スポーツクラブ会員数(地区全戸加入を除く)	人	③11,628	13,700	12,600	7,519	D
57 県営スポーツ施設の利用者数	万人	②61	120	77	64	D

【特記事項】

- ・ 総合型地域スポーツクラブ会員数(地区全戸加入を除く)は、新型コロナウイルス感染症の影響等による体育施設の利用制限等により事業を縮小し、会員数が減少したスポーツクラブがあったため、達成度は【D】となりました。
- ・ 県営スポーツ施設の利用者数は、前年より利用者数が増加した施設があったものの、新型コロナウイルス感染症の影響による施設の休館や各種大会等の中止を行ったため、施設全体では利用者数が減少し、達成度は【D】となりました。

◆推進方策を構成する事業の状況

事業数	投入コスト(百万円)		活動内容指標の達成度				成果指標の達成度							
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
5	40	34	1	3	0	30	4 (66%)	1 (17%)	0 (0%)	1 (17%)	3 (50%)	0 (0%)	2 (33%)	1 (17%)

(5) 障がい者スポーツへの参加機会の充実

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R3)	実績値 (R3)	達成度
58 障がい者スポーツの教室・大会の参加人数 〔累計〕	人	2,954	9,180	5,930	6,763	A
59 障がい者の受入・活動支援を行うスポーツ関係団体数〔累計〕	団体	⑩8	20	17	21	A

◆推進方策を構成する事業の状況

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
3	26	26	4	0	0	22	4 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	2 (67%)	0 (0%)	1 (33%)	0 (0%)

(6) 岩手発の「超人スポーツ」の創出等によるスポーツ参加機会の拡大

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R3)	実績値 (R3)	達成度
60 超人スポーツワークショップ参加者数〔累計〕	人	69	280	210	377	A
61 超人スポーツオープンセミナー参加者数(オンラインを含む)〔累計〕	人	②212	370	212	212	—

◆推進方策を構成する事業の状況

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
1	1	1	0	0	0	1	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (100%)	1 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

3 政策項目を取り巻く状況

- 成人の週1回以上のスポーツ実施率は、令和3年度調査に40代が50%台であったものが、令和4年度調査では63.3%と上昇し年代別のばらつきは解消傾向にあります。
- 令和4年県民意識調査によると「日常的に文化芸術に親しむ機会」の重要度は57位、満足度は38位となり、ニーズ度は56位となっています。
- 令和4年県民意識調査によると「身近な地域でスポーツを楽しむ機会」の重要度は55位、満足度は35位となり、ニーズ度は55位となっており、特に30～39歳のニーズ度が最も高くなっています。

4 他の主体の取組の状況(県民、企業、NPO、市町村など)

- 市町村や総合型地域スポーツクラブ等のスポーツ推進団体において、スポーツ教室の開催等による運動習慣の定着化に向けた取組が行われています。

13 【体育】児童生徒の健やかな体を育みます

（基本方向）

児童生徒一人ひとりが自らの体力や健康に関心を持ち、運動に親しむ資質や能力を身に付けることができるよう、学校体育の充実や適切な部活動の推進などにより、体力の向上と健康の保持・増進に取り組みます。

また、生涯を通じて健康で活力ある生活を送ることができるよう、家庭や地域と連携しながら、健全な食生活と健康・命の大切さを教える学校保健活動などにより、児童生徒に基本的な生活習慣や、健康に関する正しい知識などを身に付けさせる取組を推進します。

【課題と今後の方向】

課 題	今後の方向
＜具体的推進方策①＞豊かなスポーツライフに向けた学校体育の充実	
<p>運動習慣等に係る諸調査を活用し、児童生徒の実態を把握しながら、各学校における個別指導を含めた体力向上に向けた取組を改善する必要があります。</p> <p>また、児童生徒の「よりよい運動習慣」「望ましい食習慣」「規則正しい生活習慣」の形成に向けて、各習慣を相互に関連付けた一体的な取組の推進を図る必要があります。</p>	<p>「希望郷いわて 元気・体力アップ 60 運動」の取組を発展、継承させ、「よりよい運動習慣」「望ましい食習慣」「規則正しい生活習慣」の改善に向けて、学校内における各分野の担当者が連携し、一体的に関連付けながら取り組むことで、児童生徒一人ひとりのよりよい生活の確立に取り組みます。</p> <p>また、児童生徒がスポーツの意義や価値を学び、スポーツへの興味・関心を一層深められるよう、体育授業の改善などに取り組みます。</p>
＜具体的推進方策②＞適切な部活動体制の推進	
<p>全ての中学校の部活動における指導方針等について、学校、保護者、外部指導者等の共通理解が図られ、望ましい活動となるよう、学校に対する働きかけを行う必要があります。</p> <p>また、各学校の部活動への加入が、「任意加入」となるよう、生徒の自主的・自発的な参加により行われる部活動の徹底について周知する必要があります。</p>	<p>「部活動の在り方に関する方針」を踏まえ、指導者研修会の実施や、学校、保護者、外部指導者等の共通理解を醸成するとともに、「中学生スポーツ・文化活動に係る研究会」でまとめられた提言の周知を図ることに加え、段階的に実施される部活動の地域移行により、望ましい部活動の実現に取り組みます。</p>
＜具体的推進方策③＞健康教育の充実	
<p>本県では、運動する児童生徒とそうでない児童生徒の二極化傾向により、全国に比較し小中学生で肥満傾向児の出現率が高いことから、生活習慣病など健康リスクを未然に防止するため、低年齢から自ら考え判断できる力を養っていく必要があります。</p> <p>また、スマートフォンなどの情報端末の普及によるSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）上での誹謗中傷などのいじめやネット犯罪等に巻き込まれる危険が深刻化していることを踏まえ、情報モラル教育の推進や保護者への啓発活動等を更に推進する必要があります。</p> <p>さらに、未だ薬物乱用防止教室を開催していない学校もあることから、啓発年齢層に応じた薬物乱用に関する基礎知識、薬物の具体的な危険性・有害性、薬物乱用への勧誘に対する対応方法等について効果的な啓発をするため、薬物乱用防止教室の開催を推進する必要があります。</p>	<p>「希望郷いわて元気・体力アップ 60 運動」の取組を発展、継承させ、「よりよい運動習慣形成」「望ましい食習慣の形成」「規則正しい生活習慣形成」の改善に向けて、学校内における各分野の担当者が連携し、一体的に関連付けながら取り組むことで、児童生徒一人ひとりのよりよい生活の確立に取り組みます。</p> <p>また、児童生徒が、情報化社会において適切に行動する考え方や態度を身に付ける指導を行うため、情報モラルに係る児童生徒向けの指導資料を作成し、県内公立学校の児童生徒向けに配付することで、児童生徒の情報モラルの啓発を図るとともに、インターネット利用等に関する普及啓発活動を保護者や地域、関係団体と連携して推進します。</p> <p>さらに、第五次薬物乱用防止五か年戦略では、小学校においても薬物乱用防止教室の開催に努めることとされていることから、開催意義、対象学年に応じた学習資料や学習内容の情報提供を行い、学校での取組を推進します。</p>
総 括	

課 題	今後の方向
<p>以上のことから、児童生徒の健やかな体を育む教育の推進のため、運動に親しむ資質・能力や、健康に関する正しい知識に基づき自ら判断できる力を身に付けることができるよう、学校体育の充実、適切な部活動体制の推進及び健康教育の充実に取り組みます。</p>	

1 いわて幸福関連指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R3)	実績値 (R3)	達成度	参考)全国順位(東北順位)		
							H29	R3	比較
28	体力・運動能力が標準以上の児童生徒の割合	小 男子 73.6	75.0	74.5	68.9	D	14 位 (2 位)	10 位 (2 位)	上昇 (横ばい)
29		小 女子 82.9	83.0	83.0	79.1	B	9 位 (2 位)	8 位 (2 位)	上昇 (横ばい)
30		中 男子 77.7	78.0	78.0	74.8	B	7 位 (1 位)	5 位 (2 位)	上昇 (下降)
31		中 女子 91.3	91.5	91.5	88.8	B	8 位 (1 位)	7 位 (1 位)	上昇 (横ばい)

【特記事項】

- 体力・運動能力が標準以上の児童生徒の割合（小学生男子）は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に伴い、教育活動等が制限されたことで、体育の授業及び体育の授業以外での体力向上の取組が減少したこと等により、目標値を下回り、達成度は【D】となりました。

2 県の取組（具体的推進方策）の状況

具体的推進方策	取組状況	説明
① 豊かなスポーツライフに向けた学校体育の充実	順調	推進方策指標1指標の達成度が、「B」が1指標であり、構成する事務事業も順調に取り組まれていることから、「順調」と判断しました。
② 適切な部活動体制の推進	概ね順調	推進方策指標2指標の達成度が、「A」が1指標、「D」が1指標であり、構成する事務事業も概ね順調に取り組まれていることから、「概ね順調」と判断しました。
③ 健康教育の充実	遅れ	推進方策指標6指標の達成度が、「B」が1指標、「C」が1指標、「D」が4指標であり、構成する事務事業は順調に取り組まれているものの、「遅れ」と判断しました。

- 「60プラスプロジェクト」においては、学校内における「運動習慣」「食習慣」「生活習慣」に係る各担当者を中心として、校内全体で連携し、相互に関連付けて一体的に取り組んでいます。
- 体育の授業や放課後・長期休業中の体力向上に係る取組に協力できる地域スポーツ指導者リストや、総合型地域スポーツクラブにおいて実施されるスポーツ教室等の情報を学校等に提供しています。
- 令和元年8月に改訂した「岩手県における部活動の在り方に関する方針」について、各学校や市町村教育委員会に周知を行い、適切な部活動の推進を図っています。
- 全ての市町村が「自主的・自発的な参加により行われる部活動」を盛り込んだ方針を策定するよう要請しています。
- 関係団体や有識者で構成する「中学生スポーツ・文化活動に係る研究会」においてまとめられた「いわての中学生のスポーツ・文化活動のこれから（提言）」の周知を図っています。
- 新型コロナウイルス感染症対策として、部活動においては、参加する生徒の健康状態の把握や体調管理の徹底のほか、十分な感染症対策を行い、内容や方法を工夫しながら実施するよう周知を図っています。
- 健康教育と健康管理、食に関する指導の充実を図るため、学校保健や食育推進に係る各種研修会を開催し、指導者の資質向上・指導力向上に継続的に取り組んでいます。なお、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、必要に応じてオンライン開催や書面開催とするなど、開催方法を見直した上で、実施しています。

(1) 豊かなスポーツライフに向けた学校体育の充実

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R3)	実績値 (R3)	達成度
162 運動やスポーツをすることが好きな児童生徒の割合	%	◎89	89	89	86	B

◆推進方策を構成する事業の状況(事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
2	6	5	5	0	0	0	2	0	0	0	2	0	0	0
							(100%)	(0%)	(0%)	(0%)	(100%)	(0%)	(0%)	(0%)

(2) 適切な部活動体制の推進

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R3)	実績値 (R3)	達成度
163 部活動の活動方針について、学校、保護者、外部指導者等が、共通理解を図る部活動連絡会を開催している学校の割合	%	中 80.2	100	95	86.6	D
164		高 ー	100	90	93.2	A

【特記事項】

- 部活動の活動方針について、学校、保護者、外部指導者等が、共通理解を図る部活動連絡会を開催している学校の割合は、一部の小規模校では日頃から一定の共通理解が図られていると判断し、連絡会の場を設定しなかったため、中学校の達成度は【D】となりました。

◆推進方策を構成する事業の状況(事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
7	159	126	14	12	0	100	4	0	1	0	7	0	0	0
							(80%)	(0%)	(20%)	(0%)	(100%)	(0%)	(0%)	(0%)

(3) 健康教育の充実

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R3)	実績値 (R3)	達成度
165 「定期健康診断」の肥満度が正常である児童生徒の割合	%	小 ◎88.1	91	90	86.6	D
166		中 ◎86.2	89	88	85.6	D
167 ルールを守って情報機器(スマートフォン等)を利用することが大切だと思う児童生徒の割合	%	小 ◎89	100	97	88	D
168		中 ◎85	100	96	87	D
169 【再掲】		高 ◎83	100	96	92	C
170 喫煙飲酒の指導を含めた「薬物乱用防止教室」を開催している小学校の割合	%	73.7	100	100	89.9	B

【特記事項】

- 「定期健康診断」の肥満度が正常である児童生徒の割合は、適切な運動習慣、食習慣、生活習慣を身に付けるための取組を関連付けて効果的に推進できなかったことなどにより、「肥満」の割合が増加したため、小学生、中学生の達成度は【D】となりました。
- ルールを守って情報機器(スマートフォン等)を利用することが大切だと思う児童生徒の割合は、情報モラルに関する児童生徒向けの講習会や出前講座が減少したことなどが考えられ、小学生、中学生の達成度は【D】、高校生の達成度は【C】となりました。

◆推進方策を構成する事業の状況(事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
3	2	2	1	0	0	1	2	0	0	0	2	0	0	0
							(100%)	(0%)	(0%)	(0%)	(100%)	(0%)	(0%)	(0%)

3 政策項目を取り巻く状況

- 関係団体や有識者で構成する「中学生スポーツ・文化活動に係る研究会」において、望ましい部活動の在り方を検討し、令和3年3月に「いわての中学生のスポーツ・文化活動のこれから（提言）」を取りまとめました。
- スポーツ庁及び文化庁においては、教員の働き方改革に伴い、中学校の部活動を段階的に地域移行することとしています。
- 国は、望ましい部活動の在り方を示した「部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」を平成30年に策定しています。中学校部活動の地域移行に伴い、今後ガイドラインの改訂が見込まれます。
- 令和3年度学校保健統計調査（文部科学省調査）によると、小・中学生で肥満傾向児の出現率が全国平均値を上回っています。
- 社会情勢の急激な変化により、肥満やアレルギー疾患、感染症をはじめ、いじめ、ネット依存、薬物乱用や心の健康等、子どもたちの健康課題は複雑かつ多様化しています。
- 令和4年県民意識調査によると「子どもの体力向上や心身の健康保持」の重要度は23位、満足度は12位で、ニーズ度は30位となっています。

4 他の主体の取組の状況（県民、企業、NPO、市町村など）

- 市町村教育委員会においては、体力・運動能力調査等の結果に基づき、県と連携・協働して、各学校の実態に応じた指導を行っています。また、各学校では、子どもが運動の楽しさを味わい、運動習慣を身に付けることのできる取組を実施しています。
- 市町村教育委員会においては、食育の取組と連携した郷土料理や地場産物を活用した給食の提供などが行われています。
- 各学校においては、多様化・深刻化する子どもの健康課題に対応するため、学校・家庭・関係機関が連携・協働した学校保健委員会を開催しています。また、学校関係者、関係機関等が連携・協働しながら食に関する指導や児童生徒の肥満改善と予防に向けた取組を行い、児童生徒の望ましい生活習慣及び食習慣の形成等に向けた健康教育を推進しています。

19 文化芸術・スポーツを担う人材を育てます

（基本方向）

スポーツを担う人材を育てるため、アスリート、障がい者アスリートの各種競技大会や強化合宿への参加を支援するとともに、スポーツ活動を支える指導者等の養成、スポーツ医・科学サポートを推進します。

【課題と今後の方向】

課 題	今後の方向
＜具体的推進方策③＞アスリートの競技力の向上	
国際大会等で活躍するトップアスリートを育成するため、日本スポーツ協会等と連携し、中長期的な視点に立った育成や、日本代表や全国で上位入賞を目指す選手に対する支援などに継続的に取り組む必要があります。	スーパーキッズの発掘・育成など中長期的な視点に立ったアスリートの育成に取り組みます。 また、本県トップアスリートのスポーツ活動を支えるため、大会や強化合宿への参加等に係る活動支援や、アスリートの県内定着を図るため、就職マッチング等に取り組みます。
＜具体的推進方策④＞障がい者アスリートの競技力の向上	
「北京 2022 パラリンピック」、「2021 アジアユースパラ競技大会」に本県ゆかりの選手が多数出場するなど、本県の障がい者スポーツのレベルは高まっており、更なる選手の発掘・育成と指導者、介助者の育成等を含め、競技活動へのサポートが必要です。	障がい者スポーツ選手の発掘・育成のため、関係団体と連携し、競技体験会や強化練習会を実施するとともに、大会や強化合宿への参加等に係る活動支援に取り組みます。
＜具体的推進方策⑤＞スポーツ医・科学サポートを通じた競技力の向上	
国際大会等で活躍するトップアスリートを育成するため、アスリートの様々な要求に対応できるサポート人材をさらに養成していく必要があります。	体力測定等で得られたデータや、最新のデジタル技術を活用し、個々に適した科学的なトレーニングメニュー等を提供できる人材の養成に取り組みます。
＜具体的推進方策⑥＞スポーツ活動を支える指導者等の養成	
スポーツを担う人材を育てるため、スポーツ活動を支える指導者等の養成に取り組むことが必要です。	中央競技団体が行う研修への参加支援や、スポーツ・インテグリティ [※] の確保に向けた研修の実施に取り組みます。 障がい者のスポーツ活動を支える指導者を養成するため、関係団体と連携し、指導者の資格取得に向けた講習会の実施などに取り組みます。 地域のスポーツ活動を担うスポーツ推進委員等の人材育成・資質向上を図るため、市町村や関係団体と連携し、研修・研究大会の実施などに取り組みます。
総 括	
以上のことから、スポーツを担う人材を育てるため、中長期的な視点に立ったアスリートの育成や、個々に適した科学的なトレーニングメニュー等を提供できる人材の養成に取り組みます。	

※ スポーツ・インテグリティ：スポーツが様々な脅威により欠けるところなく、価値ある高潔な状態。八百長・違法賭博、ガバナンス欠如、暴力、ドーピング等の様々な脅威から、スポーツにおける誠実性・健全性・高潔性を守る取組。

2 県の取組（具体的推進方策）の状況

具体的推進方策	取組状況	説明
③ アスリートの競技力の向上	順調	推進方策指標2指標の達成度が、「A」が1指標、未確定等が1指標であり、構成する事務事業も概ね順調に取り組まれていることから、「順調」と判断しました。
④ 障がい者アスリートの競技力の向上	順調	推進方策指標2指標の達成度が、「A」が2指標であり、構成する事務事業も概ね順調に取り組まれていることから、「順調」と判断しました。

⑤ スポーツ医・科学サポートを通じた競技力の向上	順調	推進方策指標2指標の達成度が、「A」が1指標、「B」が1指標であり、構成する事務事業も概ね順調に取り組まれていることから、「順調」と判断しました。
⑥ スポーツ活動を支える指導者等の養成	概ね順調	推進方策指標3指標の達成度が、「A」が2指標、「D」が1指標であり、構成する事務事業も概ね順調に取り組まれていることから、「概ね順調」と判断しました。

- 本県選手の競技力の維持・向上に向けて、県体育協会内の無料職業紹介所「岩手スポーツアスリート無料職業紹介所」に雇用支援員を配置し、県内就職を希望するアスリートの発掘と、雇用企業を開拓し、トップアスリートの県内就職に向けた取組を推進しています。
- デジタル技術を活用したスーパーキッズの受講環境の整備と、更なる運動能力向上のため、受講生へタブレットを貸与し、オンラインによるプログラム受講や、個々の特性に応じたトレーニングメニューの提供に取り組んでいます。
- 障がい者トップアスリートの活動を支援するため、強化選手を指定し県外遠征や強化事業などの経費を支援するとともに、パフォーマンス向上につながる競技用具の整備を行っています。
- 競技別のガイドラインに基づいた新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、強化練習を実施するとともに、スポーツ医・科学の知見や、デジタル技術による映像データ分析等を活用した効果的で効率的な指導方法ができる指導者の養成に取り組んでいます。
- 自宅で手軽に健康づくりに取り組めるよう、少しの時間でも取り組める運動プログラム紹介動画「レッツ！ぺっこトレ！！」の定期的な配信や、スポーツドクターやスポーツ栄養の専門家によるスポーツ医・科学情報「ぺっこ学ぶべ」の県ホームページへの定期的な掲載など、スポーツ医・科学の知見を活用した県民向けの情報提供を実施しています。
- これまで養成してきた、「いわてアスレティックトレーナー」を大会や強化練習会等に派遣し、競技団体の専門的な要望への対応や、女性トレーナーによる女性アスリートへのサポートに取り組んでいます。
- 国体監督の条件となる競技別指導者資格取得の支援を行うとともに、女性アスリートの指導者を対象としたスポーツ医・科学研修会を開催し、指導者の資質の向上に取り組んでいます。

(3) アスリートの競技力の向上

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R3)	実績値 (R3)	達成度
228 国民体育大会天皇杯順位	位	㊟東北1位	東北1位	東北1位	—	—
229 本県関係選手の日本代表選出数〔累計〕	人	40	86	58	69	A

【特記事項】

- 国民体育大会天皇杯順位は、新型コロナウイルス感染症の影響により、国民体育大会（三重県）が中止となったため、実績値は測定できませんでした。なお、令和3年度においては、アスリートの競技力向上のため、県外遠征等の活動費を支援したほか、「岩手スポーツアスリート無料職業紹介所」を岩手県体育協会内に設置し、アスリートの県内定着に向けた就職マッチング等に取り組ましました。

◆推進方策を構成する事業の状況

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
5	190	150	0	0	0	150	5 (63%)	0 (0%)	1 (12%)	2 (25%)	4 (57%)	0 (0%)	1 (14%)	2 (29%)

(4) 障がい者アスリートの競技力の向上

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R3)	実績値 (R3)	達成度
230 障がい者アスリートの育成研修会参加選手数〔累計〕	人	14	176	123	140	A
231 ジャパンパラ競技大会出場選手数〔累計〕	人	7	25	17	17	A

◆推進方策を構成する事業の状況

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
2	12	6	0	1	0	5	0	1	0	3	1	1	1	
						(83%)	(0%)	(17%)	(0%)	(50%)	(17%)	(17%)	(17%)	

(5) スポーツ医・科学サポートを通じた競技力の向上

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R3)	実績値 (R3)	達成度
232 スポーツ医・科学サポート団体数[累計]	団体	90	382	282	263	B
233 アスレティックトレーナー等登録者数	人	90	114	96	99	A

◆推進方策を構成する事業の状況

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
1	19	15	0	1	0	4	0	0	0	2	1	1	0	
						(100%)	(0%)	(0%)	(0%)	(50%)	(25%)	(25%)	(0%)	

(6) スポーツ活動を支える指導者等の養成

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R3)	実績値 (R3)	達成度
234 公認スポーツ指導者資格登録者数	人	⑩2,701	3,277	3,097	3,118	A
235 公認障がい者スポーツ指導者資格登録者数	人	225	300	285	258	D
236 スポーツ推進委員研修会参加率(オンラインを含む)	%	②-	50.0	50.0	71.3	A

【特記事項】

- 公認障がい者スポーツ指導者資格登録者数は、新型コロナウイルス感染症の影響により、講習会の参加者数が当初の想定より減少したことや、資格登録者の活動機会の減少等により、更新手続きを行わなかった方がいたため、全体として資格登録者数の増加につながらず、達成度は【D】となりました。

◆推進方策を構成する事業の状況

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
3	27	26	4	0	0	5	0	0	2	4	0	0	3	
						(71%)	(0%)	(0%)	(29%)	(57%)	(0%)	(0%)	(43%)	

3 政策項目を取り巻く状況

- 世界や全国で活躍する本県出身選手が多数輩出され、「岩手のスポーツ」が注目されています。
- 令和4年県民意識調査によると「県ゆかりの芸術家やスポーツ選手の活躍」の重要度は43位、満足度は1位となり、ニーズ度は57位となっています。

4 他の主体の取組の状況(県民、企業、NPO、市町村など)

- 県体育協会では、県内競技団体に対して、新型コロナウイルス感染症対策を講じた強化事業を図るとともに、国体に向けた選手強化への取組に加え、中長期的な視点に立ったジュニア期からのアスリート強化に取り組んでいます。
- 県障がい者スポーツ協会では、各種競技大会の開催やスポーツ教室等の実施による障がい者スポーツの普及啓発に加え、パラアスリートの強化に向けた取組を進めています。

26 文化芸術・スポーツを生かした地域をつくります

（基本方向）

スポーツを生かした地域活性化を図るため、ラグビーワールドカップ 2019[™]や東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会のレガシーを継承し、スポーツイベントの誘致・開催をはじめとしたスポーツツーリズムの拡充などを通じて、人的・経済的な交流の拡大に取り組みます。

【課題と今後の方向】

課 題	今後の方向
<具体的推進方策②>スポーツを生かした人的・経済的な交流の推進	
<p>スポーツを生かした地域活性化を図るため、大規模大会のレガシーを生かしたスポーツ大会・合宿等の誘致や、本県の豊かな自然を生かしたスポーツアクティビティを活用した交流人口の拡大に取り組む必要があります。</p> <p>また、県民のスポーツに対する関心を高めるため、トップ・プロスポーツチームが持つ発信力等を生かして、県民との一体感の醸成に取り組む必要があります。</p>	<p>いわてスポーツコミッション[※]を中心としたスポーツ大会の開催実績を生かしたスポーツ大会・合宿の誘致や、豊かな自然を活かしたスポーツアクティビティの普及により、人的・経済的な交流を推進します。</p> <p>また、県内のトップ・プロスポーツチームと連携したスポーツ教室等の開催や試合を通じた県のPRの実施により、県民のスポーツに対する関心を高め、一体感の醸成に取り組みます。</p>
総 括	
<p>以上のことから、スポーツを生かした地域活性化を図るため、大規模スポーツ大会の開催実績を生かした大会・合宿誘致や、トップ・プロスポーツチームと連携したスポーツ教室等の開催等に取り組みます。</p>	

※ スポーツコミッション：スポーツ資源と観光資源を生かし、スポーツ大会やスポーツ関連イベント等の誘致、スポーツツーリズムの推進等を官民の関係機関・団体が一体となって取り組み、交流人口の拡大等による地域活性化を図る組織。

1 いわて幸福関連指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R3)	実績値 (R3)	達成度	参考)全国順位(東北順位)		
							H29	R3	比較
43 文化・スポーツ施設の入場者数(スポーツ施設入場者数) [※]	万人	805	806	806	486	C	-	-	-

※ 県及び県内市町村の公立スポーツ・レクリエーション施設入場者数

【特記事項】

- 文化・スポーツ施設の入場者数(スポーツ施設入場者数)は、新型コロナウイルス感染症の影響による施設の休館や利用控えのため、達成度は【C】となりました。

2 県の取組(具体的推進方策)の状況

具体的推進方策	取組状況	説明
② スポーツを生かした人的・経済的な交流の推進	順調	推進方策指標2指標の達成度が、「A」が2指標であり、構成する事務事業も概ね順調に取り組まれていることから、「順調」と判断しました。

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、多くのスポーツ大会・合宿は中止や延期を余儀なくされてきましたが、感染状況を踏まえながら、官民一体の連携組織である、いわてスポーツコミッションを中心に様々なスポーツ大会・合宿等の誘致に取り組んでいます。
- 県内トップ・プロスポーツチームと県民との一体感の醸成による地域活性化を図るため、各チームと連携し、スポーツ教室等の取組を進めています。

- 「ラグビー県いわて」の定着に向けて、釜石市や関係団体と連携し、釜石鶴住居復興スタジアムの利用促進を進めるとともに、メモリアルイベントの開催に向けて準備を進めています。
- 新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、日本スポーツマスターズ2022岩手大会やIFSCクライミングワールドカップB&Lコンバインドいわて盛岡2022を開催し、国内外からいただいた復興支援に対する感謝と復興の今を発信し、人的・経済的な交流の取組を進めるとともに、いわて八幡平白銀国体の開催に向けて準備を進めています。

(2) スポーツを生かした人的・経済的な交流の推進

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	年度目標値 (R3)	実績値 (R3)	達成度
283 スポーツ大会・合宿・イベントの参加者数〔累計〕	人	130,000	410,000	267,000	314,224	A
284 県内トップ・プロスポーツチームによるスポーツ教室等の参加者数〔累計〕	人	3,771	15,500	11,580	12,290	A

◆推進方策を構成する事業の状況

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
8	184	175	0	45	35	95	10 (91%)	1 (9%)	0 (0%)	0 (0%)	4 (50%)	2 (25%)	1 (12%)	1 (12%)

3 政策項目を取り巻く状況

- スポーツ大会等の開催に当たっては、国のガイドライン等に基づき、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら実施しています。
- 令和4年県民意識調査によると「文化芸術・スポーツを生かした地域づくり」の重要度は52位、満足度は33位となり、ニーズ度は49位となっており、特に男性のニーズ度が高くなっています。

4 他の主体の取組の状況（県民、企業、NPO、市町村など）

- 県内各地で官民連携による地域スポーツコミッションが設立されており、地域のスポーツ施設や自然環境、観光資源を生かし、スポーツ大会や合宿の誘致等によるスポーツツーリズムが推進されています。
- ラグビーワールドカップ2019岩手・釜石開催のレガシーを生かし、釜石市や関係団体等によるラグビーのまち釜石推進協議会が中心となって、スタジアム等を活用したイベントの開催や、ラグビー・文化交流が推進されています。